

話すこと聞くことの言語活動例（１）

1 科目名・領域・指導事項

「国語総合」 「A 話すこと・聞くこと」のエ

話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

2 目標と評価規準

- (1) 評価を通して、話し方や言葉遣いの改善に役立てる。【関心・意欲・態度】
- (2) 自分や他者の表現を客観的に分析し評価する。 【話すこと・聞くこと】
- (3) 表現の特色を及び言語の役割を理解する。 【知識・理解】

関心・意欲・態度	話す能力・聞く能力	知識・理解
自己評価，相互評価を通して自分の話し方の向上につなげようとしている。	話すことについて，自分や他者の話し方を客観的に分析評価できる。	表現の特色及び言語の役割を理解している。

3 取り上げる言語活動

「ア 状況に応じて話題を選んでスピーチしたり，資料に基づいて説明したりすること。」

4 取り上げる題材

「高校生活を通して，私が取り組んできたこと」

(※題材は自由だが，生徒の身近なことから始める。)

5 学習指導における具体的な評価規準

- (1) 評価を通して、発表内容や表現の仕方を吟味し自分の話し方の改善に役立てようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 自分のスピーチが話し方を工夫することによって分かりやすく伝えられていたかどうか評価することができる。

6 指導のポイント

- 評価のワークシート（話し方を評価できる規準を示したワークシート）
規準 ① 構成（順序）
② 資料（使い方、わかりやすさ）
③ 表現（ラベリング、ナンバリング、強調表現、文の作り）
- 付箋紙を用いたK J法による話し合い。模造紙を用意し、発表について、良かった点、改善すべき点を付箋で貼り整理して検討する。

7 学習指導の展開 全体2時間

第1時限…教師の指導により原稿を作成させる。

話し手は、聞き手を意識し班内で3分間スピーチを行う。

聞き手は、ワークシートをもとに良い点や改善点について評価する。

班員で検討し改善した原稿を再び発表する。

第2時限…クラス全員の前で改善した原稿を発表し、どういう点を改善したかを説明する。聞き手は話ワークシートに発表についての意見をまとめる。

★自己評価や相互評価を通して様々な表現について検討し、自己の表現力の向上に役立てる。

8 指導案例 第1時限

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
導入 5分	前回の想起	本時の目標を話す。	
展開 40分	<p>○班にわかれ、班代表があらかじめ作成したスピーチを行う。</p> <p>○スピーチののち、良かった点、改善すべき点を各人が3点以上あげ話し合い改善する。</p> <p>○話し手は、全体を前に発表する。その後、工夫した点などを説明する。</p>	<p>○聞く態度、評価の観点を聞く前に確認し、聞きながらメモさせる。</p> <p>○スピーチを向上させる方法について、具体的な方法を考えさせる。</p>	<p>○的確に聞きとり評価メモができています。 (ワークシート)</p> <p>○具体的な改善策を出し話し合っている。(観察)</p> <p>○的確に聞き取り評価しながら聞き、話し手の改善点が効果を上げているか検討できる。 (観察・ワークシート)</p>
まとめ 5分	次回予告	○発表を続けること。	

